

平成30年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞
主催者賞受賞

仕組みづくり、人づくり、まちづくり

東京都文京区 特定非営利活動法人街36 本郷

特定非営利活動法人街36 本郷 代表理事 長谷川 大



1 仕組みづくり

① 設立経緯

東京都文京区本郷は、都心部にありながら、文化・歴史のある古い町並みが残り、また東京大学をはじめ、多くの大学を有する地域である。近年、都心回帰の傾向により、新たな住民、特に子育て世代の人口が増加している。その中で、2010年、代々この地で商売を営み、地域の担い手である商店主が中心となり、誰とでもつながる組織のNPO法人を設立した。

② 組織の目的

街にはすでに多くの組織・団体による活動が存在する。自治体、自治会、商店街、

PTA、消防団、医療・福祉関係、趣味サークル、スポーツ団体などが各地域、世代、

カテゴリごとに分かれて活動している。その集積で街は形成されている。だが、仮に近い存在があったとしても連携を図ることは、できそうでできない。さらに担い手の高齢化、人手不足、組織の形骸化、社会の変化への遅れ等により活動が停滞し始めている。しかし、今なおその活動により街は日々動いている。そこで、既存の組織を活かしつつ、様々な活動に対して連携を図りながら、人材及び知恵などを協力し、バックアップするNPO法人があれば、街全体の活性化を図ることができると考え、「つなげる」ことに特化した組織を設立するに至った。理事は、すでに自治会・商店街他、

様々なカテゴリで活躍する者が務める。

③ バカ者・ヨソ者・若者が活躍できる仕組みづくり

街の中ですでに多くの組織・団体で活躍する理事（バカ者）が、新たな住民・学生など（ヨソ者・若者）が活躍できる環境づくりに徹する。それにより、イノベーション、新しい力の参入しやすい場づくりが生まれ、既存の活動と新たな力が融合してまちが活性化する。

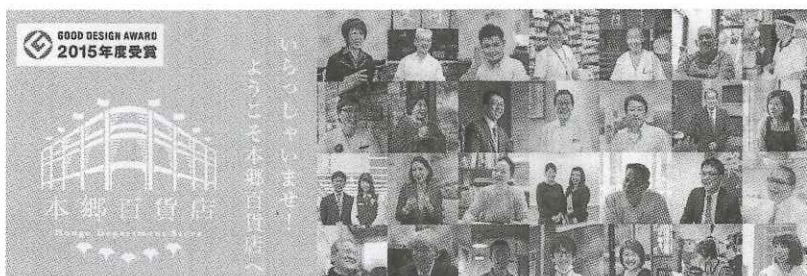
2 人づくり

① 多士済々

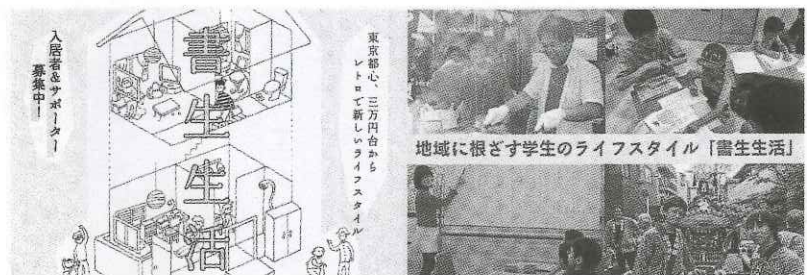
文教地区本郷という土地柄ゆえ、医療、



【ひとつ屋根の下プロジェクト】活動報告会 シニアと学生の多世代交流会



【本郷百貨店】店主の「熱き想い」を伝える（企画・運営）



【書生生活】地域自治会 夏まつり 夏休みセミナー 将棋教室 秋の神社祭り

福祉、教育の関係者をはじめ、環境、防災、都市計画、デザインなどの各分野に有能な人材がいる。2010年設立当初より参加しやすい環境づくりを行うことで、多士済々の人材がNPO法人に集まった。まちづくりに必要なことは、関わる人の数を多くすることである。今まで関わることをなかった人々が、このNPO法人を通じて参

画することになった。大学生、フリーランス、主婦、会社員、転入者、社会福祉法人、企業、団体等の方々、活躍の場を求めて新たな人材が集まる。多士済々の人々が集まれば、組織の中で多様な化学反応が起こり、多様な活動が生まれ、街が活性化される。

- ② チームリーダー
様々な地域課題解決をめざす当組織は、その専門知識の豊富な人材をリーダーに据え各理事が各プロジェクト責任者を務め、まちで活動しやすい環境を整える。常時3〜5チームが稼働している。隔週月曜日の定例会にて報告・連絡・相談を行う。
- ③ まちづくり
たくさんの人々があつまるとなる仕組みができ、多様な活動が生まれました。
- ① 成果—活動
【地域ブランディング】
・本郷百貨店—「商店街×デザイナー×学生×ライター×カメラマン」
商店主を商品に見立て、地域で商いをする想いを紹介する企画。ホームページ、情報誌、似顔絵フラッグ等々情報発信。グッドデザイン賞2015を受賞。まちにおいて、多くの活動の中心は、商店主が担う。商店が持続可能になればまちも活性化される。
- ・文人郷—「歴史家×地方都市×デザイナー×学生×理事」
多くの文人が本郷に居たことをブランド化。情報誌、講演会、イベント実施。出身地の地方都市と連携構築を図り、双方の地

域活性化をめざす。

【安全安心を図る活動】

・ひとつ屋根の下プロジェクト―『医者×学生×シニア×デザイン×有識者×理事』

家に空き部屋を持つシニアと学校の近くに住みたい学生が共生する企画。地域の見守りも図られ三方よしの企画。多世代がともに暮らすことでシニアと学生それぞれが地域とつながるきっかけとなり、街ぐるみで見守りや生きがいを生み出す新しい共助の関係をめざす。

・書生生活―『大家×学生×自治会×デザイン×不動産屋』

地域と関わりながら暮らす学生の新しいライフスタイル。2018年まで25(内4活動のみ)名参加。学生の経済支援、学住近接の時間的損失支援、地域の空き部屋・家活用、地域の担い手不足解消、少子高齢化社会問題、地域経済発展等々多くの地域課題解決を果たす。情報誌『書生閑話』の発行、夏休みセミナーの実施、地域の各種イベントの協力を行っている。

・黄色いしるし作戦―『自治会×消防団×デザイン×有識者』

高齢化した地域社会の限られた担い手の有効活用を図る。災害が起きた後どうする

か?地域防災意識向上も図る。

【地域支援】

・イベント企画・運営―『自治会×理事×学生×デザイン』

商店街、自治会等々の地域のイベント企画、運営、資料作成等々を支援、協力する。
・宅配事業―『商店街×ボランティア×自治体×福祉関連組織』

買い物弱者支援のみならず、担い手不足の商店街の支援も図る。

・講習会―『学生×理事×地域』

学生による学習セミナー・工作教室、商店主によるお菓子の作り方教室等々。地域学習の向上を図る。

・美化活動―『社会福祉法人×企業×シニア×ボランティア』

地域の清掃及び花壇の植栽をベットボトルキャップ回収による資金を調達する。

②成果―相乗効果・波及効果

つなげる組織による前例のない企画・活動を実施し、まちの活性化を行う当組織に来訪者は1000名を超える。国や都道府県、全国の市町村の行政の方々、地域の自治会長、大学教授、大学生、マスメディア等各種報道機関、上場企業役員・担当者等、実に広範囲にわたる。代表理事による講演

会、事例報告会の依頼は、まちづくり分野や医療福祉分野、大学、商店街等多岐にわたる。縦割り社会の仕組みを活かしながら、横串につなぐことで活性化する仕組みづくりは多種多様に活用可能と思われる。様々な目線で各種メディアに多数取り上げられている。設立して8年(構想10年)、この仕組みづくりによって、多士済々が集まり、決してひとりの力ではなし得ない大きな力となるのは確かである。地域課題はその地域ごとに違えど、このつなげる組織による活性化は、全国各地どこでも活用できると思う。少しでも全国の地域活性化に取り組み同志の参考になるのならうれしく思う。

また、京都市住宅課が行う『京都ソリデール事業』は、私どもの活動『ひとつ屋根の下プロジェクト』によって、得られた数々の知見を情報提供しスタートされた。今も連携は継続している。特に近年は、文京区のように大学を有する地方都市の視察が多く、『書生生活』などの大学生の地域参加について、大学から講演や共同研究の依頼を受けている。

街3本郷のミッションは、『つないで笑顔に!!』このつなぐ組織による活動『仕組みづくり・人づくり・まちづくり』が、日本全国の多くの方々への参考になれば幸いです。